



## 読書への取組について

学校では、各学級週1回は図書室の割り当てがあり、本の貸し出しや読書に取り組んでいます。授業以外でも、学校の様々な隙間の時間等を利用して読書をするよう声がけしています。家庭で、日常的に読書に取り組んでいる児童も多いことでしょう。

読書は、様々な学習の基礎となる大切なものです。

母国語が、人の思考や物事に対する理解を支えています。その「ことば」の世界を広げ、仕組みや活用法を理解することで、思考力や判断力、表現力といった、人間として生きていくために欠くことのできない力を伸ばしていくのです。

わたしたちは、日常的に使っている話しことばの中から、多くの言語情報を得て言語感覚を磨いていきますが、それだけでは、自分の狭い生活経験から踏み出すことはできません。また、耳から入ってくる言語情報も、その場で通り過ぎてしまうことが多いため、ことばに対する理解には結び付きにくく、多くの意味を表す漢字や、熟語などを理解するのも困難です。

そこで、ことばをより広く、深く理解するための手本として、書物を読むという活動が重要になります。ことばを目でとらえ、前後のつながりや活用法を確かめ、時にはつまずき、時には調べながら、確実にことばに対する感覚を磨くことができるのです。また、自分の生活経験を越えた内容に触れることで、語彙や活用法など、新たなことばの世界を広げることができ、更に人間的な成長の幅を広げることもつながります。

## 小学生の時期は音読も重要です

さらに、ことばを正確に理解し、内容を的確にとらえるためには、「音<sup>おん</sup>」も重要な要素の一つです。書物の中の文字の羅列や記号などの理解に、速さ、強弱、高低、表情、間、といった「読み方」の要素を正しく加味して初めて、文章の表そうとする内容をとらえることができるのです。逆に、文章の内容を正しくとらえていて初めて、正しい「読み方」ができるとも言え、その双方を繰り返し経験（練習）していく中で、言語感覚が磨かれていくのです。

子供たちに適切な評価を与えながら音読の経験を積みませ、今のうちに、正しい言語感覚を身に付けさせたいと願い、学校でも音読の指導に力を入れておりますが、限られた時間で大勢の子どもたち一人一人に十分な音読経験を積みさせることは難しいのが現状です。そこで、「音読カード」等によりご家庭のご協力もいただいています。

可能な範囲で、継続的に本読み（音読）に取り組ませたいと考えておりますので、今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

**【中山文庫】** 本校の図書室には「中山文庫」というコーナーがあります。郡山小学校の防犯ボランティアとして長年子供たちの安全を見守ってくださっている 中山 孝 さんが、子供たちのために寄贈して下さった本を紹介しているコーナーです。

中山さんはこれまで、何度も本を寄贈して下さっています。その時々話題の本や子供たちに人気のシリーズ、子供たちにとって必要だと思われる本など、中山さんが子供たちのことを考えて選んで下さった本が並んでいます。たいへんありがたいことであり、改めて感謝申し上げます。これからも子供たちと一緒に、大切に参ります。

※裏面に続く

..... 切り取り線 .....

学校への御意見・御要望・校長に知らせたいこと など

2021年10月1日（ ）年（ ）組 児童氏名

## 「校長室だより」町内会回覧の御礼

4月着任当初から、学校だよりとは別に、毎週、保護者向けにこの「校長室だより」を発行しておりますが、保護者以外の地域の皆様からも、「校長室だより」を御覧いただいているというお話を伺いました。

毎月発行している学校だより「ふるさとこおりやま」については、これまでも各町内会で回覧していただいておりますが、それに加えて、「校長室だより」も回覧していただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

学校の情報や校長の考え等を積極的に発信し、保護者や地域の皆様と共有し、ご意見やご提案なども頂戴して双方向の関係を築きながら、郡山小学校がこれまで築いてきた「学校・家庭・地域が一体となって子供たちを大切に育む環境」を、更に強固なものにしていきたいと考えております。

各町内会の担当者の皆様には、回覧用に班ごとに振り分ける作業など、大きなご負担をおかけしていることと思います。申し訳ございません。ご協力に深く感謝申し上げます。

今後ご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。



※学校ホームページには、学校の基本情報に加えて、年間行事予定・施設開放関連情報・学校だより・学校の様子を適時伝えるブログ等の情報が掲載されており、そこに「校長室だより」のバックナンバーも掲載しています。スマートフォンからも閲覧できますので、どうぞ御覧ください。